

「複合型サービス事業所開設」

保健医療福祉サービス研究会 医療福祉経営指導部建築コンサルタント
コスモプラン株式会社 一級建築士事務所 代表取締役

水野直樹
Naoki Mizuno



本誌2008年2月号に、地域活性化と高齢者住宅の建築プラン「複合型地域ケアの実例②」を掲載した。内容は医療法人が、まちなかの空きビルを取得し、総合ケアセンターに改修(用途変更)し、まちなか居住・介護及び在宅医療を事業展開し、法人の事業拡大と共に枯渇している地域の活性化に寄与するという事例であった。その後この事業は進化をしてきたが、ここに来て新たに「複合型サービス事業」を展開することで、新たな進

化をすることになる(図1(7))。それは地域に対して訪問看護を通じて医療の提供を強化することになるのだ。法人は群馬県高崎市の一般財団法人榛名荘。ちなみにこの事業は高崎市では第1号になる。

■複合型サービス事業所開設と防災補強改修

この事業には2種類の補助金が付いた。一つは複合型サービス事業所開設工事に2000万円、もう一つは防災補強改修工事に650万円

の合計2650万円である。2000万円については介護基盤整備として厚労省の予算だが、もう一つの防災補強改修工事は東日本大震災の影響被害の改修として当該施設内にあるグループホーム部分に対して助成を受けることになった。これに関しては法人側の担当者が行政との綿密な調整があったようだ。これらの助成によって初期投資が抑えられスムーズな事業展開が実現することになった。

■デイサービス移転

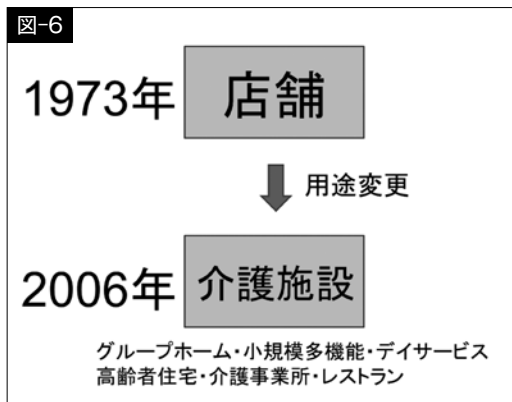
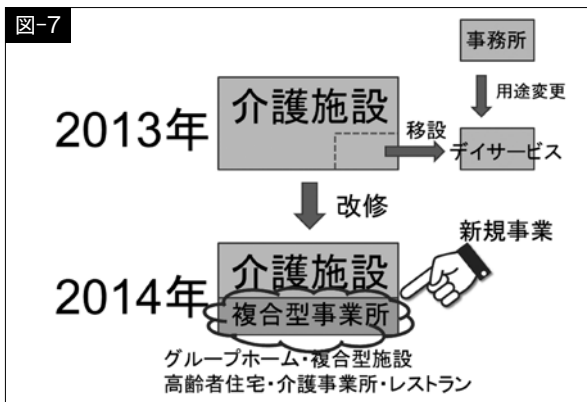
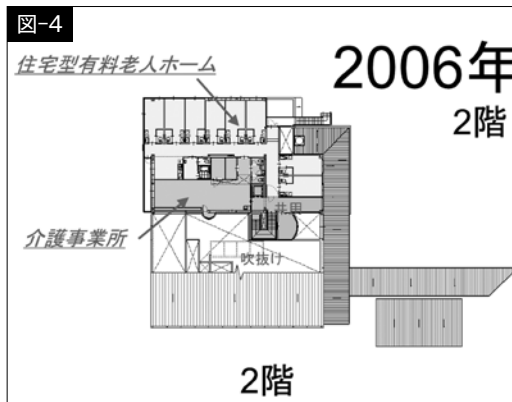
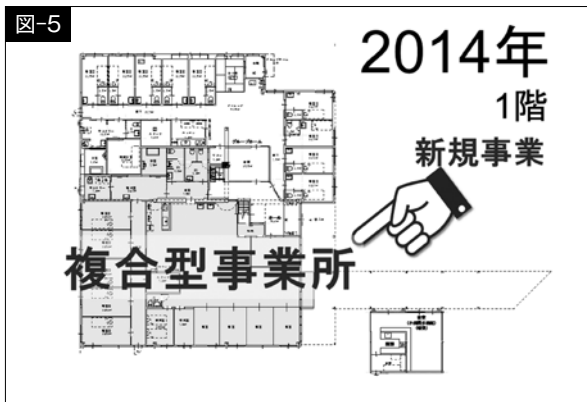
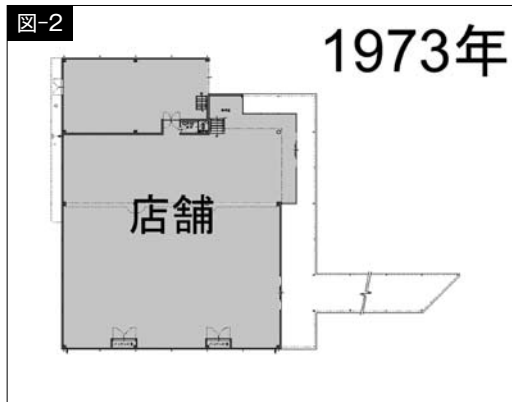
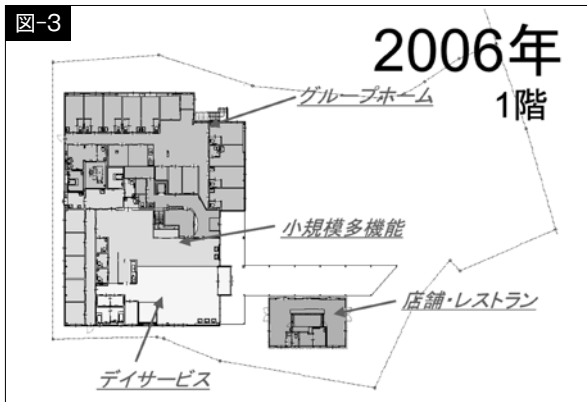
前述の複合型サービス事業所開設の前段として、当該施設内に既に運営のデイサービスセンターの移転が条件となった。既に手狭になっていたデイサービス部門を移転することでスペースを生み出し、宿泊室を従前の5室から9室に増やし、訪問看護事業所も充実させることになったのだ。よって新たに移転先が必要になった。それも限られた地域に限定された。また、投資コストを抑えるために、今回も「貸し空きビル」を探し、改修をすることになった。幸い地域で適した物件が出てきた。だが、この物件は建築当時に「検査済証」を取得していなかった。この場合、建築基準法第12条(報告、検査等)における5項の届け出を出すことになった。これはいわば建築の救済措置のようなもので、古い建物では結構存在している。2013年秋にデイサービスの移転が終了した(図18、9)。当初は基準該当としデイサービスに宿泊機能を付

加することも検討したが今回は断念した。これについては時期を見て増築等に対応する予定だ。この機能については地域ニーズがあるのだ。

■空きビル再利用

デイサービス移転も空きビルの再利用だが、本体のケアセンター(2006年改修)に至っては2回目の再利用になる。今回の現場監督は4年前の建設当時27才でかわり2回目の改修も担当し今回で3回目になる(よって現在67才)。国は今後「空き家」の再利用に政策誘導をかけることになる。少子高齢・経





「地域包括ケアシステム」が織りなす一本の糸になってほしい。その形状は大型で短楕円あるいは円形のものも多く、なかには複雑な奇形になるものがあるらしい。群馬地方では昔、この「玉まゆ」を規格外としてタダ同然で出荷したらしいが、加工されたのち関西地方では高価で取引されたと聞く。糸が複雑に絡み合っているのが加工に難があったことが起因したらしいが、製品として見た目面白い目になるが強度があったとも聞く。つまり「手間がかかり見た目も悪いが、強い」ということだ。筆者は大変良い名前だと思うが、利用する地元のお年寄りはどう思うだろうか？「玉まゆ」だけに複雑だ。複合型サービスはまさに多様な機能が複雑に絡み合う事業だろう。



「地域であらゆる分野でこれまでと異なる概念・手法が必要とされる。」に医療・介護・生活支援サービスを享受する」

この複合型サービスの事業所名は「玉まゆ」と命名された。

施設に地域ゆかりの名前を付ける法人は多いが(助)榛名荘も事業所に名に地域にゆかりの名前を付ける。この「玉まゆ」とは、複数のカイコが共同で作る繭で、1匹のカイコの作った繭と比

べ、その形状は大型で短楕円あるいは円形のものも多く、なかには複雑な奇形になるものがあるらしい。群馬地方では昔、この「玉まゆ」を規格外としてタダ同然で出荷したらしいが、加工されたのち関西地方では高価で取引されたと聞く。糸が複雑に絡み合っているのが加工に難があったことが起因したらしいが、製品として見た目面白い目になるが強度があったとも聞く。つまり「手間がかかり見た目も悪いが、強い」ということだ。筆者は大変良い名前だと思うが、利用する地元のお年寄りはどう思うだろうか？「玉まゆ」だけに複雑だ。複合型サービスはまさに多様な機能が複雑に絡み合う事業だろう。

い、しかも強く。安価ではあるが(高価)効果的に機能する。命名した人の気持ちに伝わってくる。